

ヒジ サイ 土 祭

2 0 2 1

関係者ふりかえりアンケート

実施日 | 2021年12月10日～12月28日

対象者 | 156件

回答者 | 74件 (回答率47.4%)

調査方法 | 用紙回答38件 (51.4%) オンライン回答36件 (48.6%)

【集計結果】

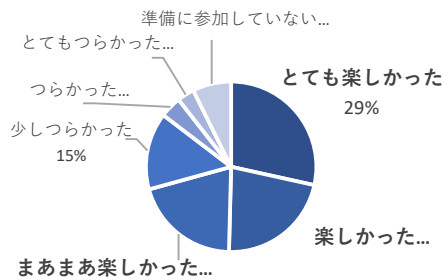
Q1 関わり参加したものの部門について

Q2 準備をしているときの気持ち

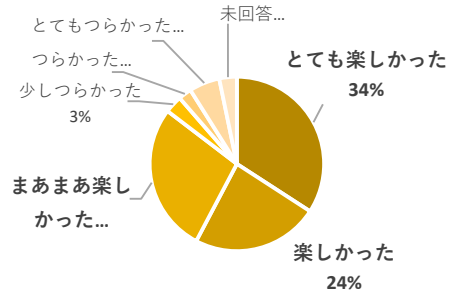
Q4 会期中の気持ち

アンケート項目	回答者が参加したプロジェクト	地	ア	陶	セ	食	プ	広	住	空	ツ	関	そ	計	割合	割合 % (大分類)	
		域	ー	芸	ミ	育	ラ	報	民	間	ー	連	の				
関わったプロジェクト ※複数回答		24	18	13	3	7	3	10	18	9	7	6	5	123	100.0%	100.0%	
準備をしているときの気持ち	とても楽しかった	3	9	9		1	1	2	2	4	3	1		35	28.5%	70.7%	
	楽しかった	6	4	1	1	4		1	6		2	1	1	27	21.9%		
	まあまあ楽しかった	7	2	1				1	3	5	3	1	1	25	20.3%		
	少しつらかった	2	2	1	2	1			2	4		1	1	2	18		14.6%
	つらかった	1								1	1		1	1	5		4.1%
	とてもつらかった	1							1		1		1		4		3.3%
準備に参加していない	4	1	1		1	1	1							9	7.3%	7.3%	
会期中の気持ち	とても楽しかった	4	8	11		2	2	2	6	3	3	1		42	34.1%	85.3%	
	楽しかった	3	5		1	5		2	6	2	2	1	2	29	23.6%		
	まあまあ楽しかった	8	5	2	2			1	4	4	2	2	2	34	27.6%		
	少しつらかった	3								1				4	3.3%		
	つらかった	1							1		1			3	2.4%		
	とてもつらかった	2							1		1		2	1	7		5.7%
未回答	3								1					4	3.3%	3.3%	
次の土祭に繋いだ方が 良いと思う企画	※複数回答	39	41	42	19	32	27	27	27	33	24	20	15	346	—	—	
	割合	11.3%	11.8%	12.1%	5.5%	9.2%	7.8%	7.8%	7.8%	9.5%	6.9%	5.8%	4.3%	100.0%	—	—	

— 準備をしているときの気持ち —



— 会期中の気持ち —



Q3 準備期間で嬉しかったこと、つらかったことを教えてください。

【嬉しかったこと】

分野	自由記載 ※【カッコ内】は回答者のプロジェクト名
企画	3か月という短い期間でも花火を成功させることができてよかったです。【地域づくり】
企画	クラフトビールを地域情報発信ツールとして選んでいただきありがとうございます。まずビールの多様性や取り組みに興味を持っていただいたことがうれしかったです。【食育・食文化】
企画	このコロナの状況の中、多くの方々の努力で開催できたこと、制作展示できる場所を与えてもらったことに感謝します。【アート】
企画	この度は、ヒジサイ 2021 アート部門にて参加させていただき光栄でした。とても楽しかったです！ワークショップ参加の皆様にも楽しんでいただけたことがうれしかったです。【アート】
企画	アートディレクターさんをはじめ、役所の方々等がアーティスト目線で強力してくれたこと。【アート】
企画	やったことが地域の人に喜ばれたこと。【地域づくり】
企画	ワクワクして制作できました。感謝します。【アート】
企画	企画されたものの中で、面白いものがあった。【アート/その他の企画】
企画	原土で作品作りができて良かった。【陶芸・手仕事】
企画	時間のない中、いい企画ができた。【関連企画】
企画	竹ご飯がよかった。【地域づくり】
企画	竹林と梅林を手入れしてきれいになって良かった。【空間・会場】
企画	レジデンス施設や学校、窯元や陶芸家の工房など、制作の過程で様々な場所を使わせてもらえたことがとても良かった。【アート】
企画	普段の生活の中で竹に関わるが増えた自分にとって、土祭のぼり旗の制作に関われた事がまず嬉しかった。今回の土祭のぼり旗の制作では、広報ましこの回覧チラシを通じて、町民の皆さんに放置竹林の整備と共に竹材の提供をお願いしたが、2件の反応があり嬉しかった。2件いずれも現地にうかがい、竹林の整備に悩みを抱えている実態が分かり、土祭のぼり旗の制作がそうした悩みの一助になるであろうことは有意義に感じられた。【空間・会場】
企画・協働	招聘作家との益子のリサーチから気づく益子の魅力や新たな一面がとても新鮮で、それを実行する上でも事務局との連携がスムーズにいったことで、協力しながら作り上げた実感があったことは嬉しかった。辛かったことは、部門ごとにディレクターをたて行ったことで、決断は早く行えたが、事務局と私の少人数の中で4つのプロジェクトを計画することやコロナ禍の中で、日々変わるイベントの開催条件に、どうしても振り回されてしまうことは、精神的にかなり疲弊した。しかし、作家はじめ、事務局と協議を重ね、様々なアイデアを持ち寄り、ケースを想定し、時間をかけ準備していったこと、結果、このような状況下のなかで土祭メイン期間を開催できたことはとても感慨深い。【アート】
企画・協働	地域づくり・上を向いて益子メンバーとの会議は皆前向きな思考で、土祭という祭りに向かって一丸となったこと。【地域づくり】
企画・協働	陶板プロジェクトでは、さまざまな窯元の方とも関わって仕事ができたと。笑い閻魔という益子にゆかりのあるものをモチーフに陶板製作が行えたこと。などうれしかったです。わりとスムーズに進められたのでつらかったことは特にはないです。【陶芸・手仕事】
企画・協働	役所の方々も作品への関心や、通常の勤務時間外での作品制作への参加や個人の繋がりをご紹介いただいたりと土祭への取り組みに真摯さが感じられました。またアートディレクターさんの、アーティストへの配慮や制作のサポートに感謝しています。滞在場所がもう少し泊まりやすいと、芸術祭の期間中、期間外でも多くのクリエイターのハブになると思いました。【アート】
企画・協働	様々なジャンルの方と同じ場所で、如何に土祭としてそれぞれの魅力や特性を伝えられるかという目標に向き合い協力していく過程を純粋に楽しむことができました。【住民 P】
協働	地区委員の方々がコロナ禍の中でも一生懸命に知恵を出し考えながら準備をして地域づくりの里山プロジェクトが出来ました、当初の計画通りには行きませんが厳しい状況の中でも地域を盛り上げたいと言う強い想いを感じました。しかし手放しで喜べるものではなく沢山の人に見て体験して貰えないもどかしさがありました。【地域づくり】
協働	仲間たちと LINE で看板のデザインやチラシのイメージなど意見を出し合い、共有して進めていった。【住民 P】
協働	仲間と地域作りに参加出来たことが良かった。【地域づくり】
コロナ関係	コロナでなかなか現地でのイベントに参加できない中、延期をして短時間でしたが活動することができて嬉しかったです。【空間・会場】
コロナ関係	コロナ禍の中、厳しい状況の中 KENMOKU 広場を事務所や展示ショップに使っていただきありがとうございます。変わらず、KENMOKU 日曜市も開催でき、それも無理なく感染対策もできるだけ工夫して六か月間本当に続

けられてご協力に大変ありがたく感謝いたします。【陶芸・手仕事】

全体	レポーターとしての参加なので準備期間＝講習期間とさせていただきますと、土祭はこんなイベントなんだ、益子町にもこんな仕事をされている方がいるんだといった、今まで知らなかった側面を見ることができて良かったです。【広報住民 P】
その他	嬉しかつこと～地域の人々の聞き取りから、戦時中の監視所の存在を教えてください、現地を探してみたら、基礎が見つかった。【地域づくり】
人とのつながり	新しい人たちと出会い関わることが嬉しかった。【住民 P/ツーリズム】
人とのつながり	多くの町内の皆様とお会いできて嬉しかったです。【住民 P/ツーリズム】
人とのつながり	スタッフの方々が手伝ってくださったのでとても楽でした。【アート】
人とのつながり	地域の事業者の皆様が徐々に団結し、手探りながらも少しずつ形になっていく様を見られたことが嬉しかった。【住民 P/ツーリズム】
人とのつながり	関係各所の方々と、新たに繋がりができた【ツーリズム】
人とのつながり	嬉しかったことは、藤原さんがいてくれたことですね。地元で活動している人がディレクターというのは他のアートプロジェクトでも体感したことありますが、本当に頼もしいです。【アート】
人とのつながり	周辺の住民が参加してくれて、楽しい時間をすごせたこと。【住民 P】
人とのつながり	色々な人と関わることができた。【ランドスケープ】
人とのつながり	新たな出会いがたくさんあり、一緒に汗を流せたことが貴重で素晴らしい経験になりました。【陶芸・手仕事】
人とのつながり	地域の人と同じ思いで参加できたのがよかった。【地域づくり】
人とのつながり	地域の方々とコミュニケーションが大変スムーズ。【関連企画】
人とのつながり	地区の委員の方々の協力に感謝とともに事務局のバックアップは有難かった。【地域づくり】
人とのつながり	竹切りを七井地区の方が協力してくれて、町中にこんな素晴らしい人がいることを知れた。【住民 P】
人とのつながり	仲間と楽しく準備ができた（ツチカラ）【陶芸・手仕事】
人とのつながり	同じ分野に興味のある益子や界隈の陶芸家さんたちと交流出来たこと。【陶芸・手仕事】
学び・協働	興味ある内容を学べたこと、また仲間と一緒に汗を流せたこと、嬉しかったです。【陶芸・手仕事】
学び	単に情報を発信するだけでなく、OJT としてレポート作成のノウハウを学ぶことができ、作成自体は大変でしたが身になる経験ができたと感じています。【広報住民 P】

【つらかったこと】

分野	自由記載 ※【カッコ内】は回答者のプロジェクト名
会議	実行委員メンバーの会議は、ほぼマイナス思考の考えばかりで土祭という祭りに対しての盛り上がりは一切感じられなかったこと。【地域づくり】
会場	調べて行っても、イベントの場所がわからなかったりするのが焦りました。【広報住民 P】
会場設営	セミナー会場が通常使用されていなかった場所だったので、清掃を初めとする会場設営することに苦労しました。【セミナー】
企画	つちかまの土留め土入れ。【陶芸・手仕事】
企画	何回も試作をしたので、時間がかかった。【食育・食文化】
企画	地域づくり(益子地区)で駄菓子屋を企画しましたが、コロナ禍で企画ができなくなってしまったのが残念でした。【地域づくり】
企画	土祭用メニューの撮影、作成。【住民 P】
企画	白紙から企画を作るということが、楽しくもあり辛い部分もあった。自分の理想と実際にできることのギャップに困ることがあった。【住民 P】
企画	普段ひとり制作なのでみんなで作る描くということに悩みすぎてしまった。【広報住民 P】
コロナ対策	コロナによって活動が制限された。【地域づくり】
コロナ対策	コロナの基準が行き先不透明で、関係者との合意形成が難しく非常に苦労した。【住民 P/ツーリズム】
コロナ対策	コロナ禍でなかなか準備が進められなかった。どこまでやっていいのかの判断がつきづらく計画が立てられなかった。【食育・食文化】
コロナ対策	コロナ禍で会期が一月後にずれてしまったため、スケジュールの組み直しが必要だったが、どうしても調整できない部分があり、時間や予算モチベーションのやりくりが大変でした。【アート】
コロナ対策	ご協力いただいた関係者と意見交換が出来たことは良かったなと思いました。コロナや開催期間の関係で、作家の皆さんとお会い出来なかったこと(交流出来なかったこと)が残念に思いました。【空間・会場ほか】
コロナ対策	コロナで企画が中止になり集まってもらったみんなに申し訳なかった。【地域づくり】
コロナ対策	常にコロナ感染が気になっていた。【地域づくり】

コロナ対策	コロナ禍で中止を決断するのが辛かった。【地域づくり】
コロナ対策・会期	つらかったこと～コロナ禍で思うように集まれなかったり、会期が延期になった。【地域づくり】
時間の確保	仕事であまり時間が取れなかったこと。【アート】
時間の確保	住民プロジェクト参加を決めてから当日までの準備期間があまり取れなかった為、作品制作が満足にできなかった。【住民 P】
時間の確保	通常の仕事に加えて、予想よりも労力を使ったこと。【住民 P】
情報共有	直前にならないと分からない情報があり、準備が大変だった。【セミナー】
情報共有	こちらの要望が通っていないことがあった。(埋蔵文化財関係)【セミナー】
体制	土祭実行委員会にて、土祭実行委員長から、一人の益子町民ではなく、ただの事業者としてしか見られなかった事がとてもつらかった。お金をいただいている以上、仕事はきっちりやったが、この一件以降、土祭の事業に対するモチベーションは著しく下がり、協力しようという気持ちが湧かなくなった。実行委員の人選は実行委員長の独断であり、体制づくりが的確でないと感じた。【地域づくり ほか】
全体	<p>土祭を一つのきっかけとして起案された、地域の共同体や環境を良好に保つために有効と考えられる企画を選んで参加したため、それらの準備そのものには意義が感じられ、作業を通して接した方々に喜んでいただけて嬉しく思えたこともあった。</p> <p>しかし、土祭自体には、その精査・再検討を求めて 2020 年 10 月に益子町議会へ陳情し、同議会総務産業常任委員会より「本計画に付随する（中略）各計画が策定前であり、整備実施方法等も検討段階である（後略）」「本計画の推進にあたっては地域住民への説明、周知の徹底を図り、将来にわたり住民との協働体制を構築した上で実施されるよう当委員会で見直し、随時調査、審議をすることとした」との回答を受けた益子町ランドスケープ計画に関連した「ランドスケープ部門」が、「地域住民への説明、周知の徹底」を行わず、したがって「住民との協働体制を構築」することもなくプログラムに組み入れられるなど、町民の疑義に町が答えられないまま継続されている事業の既成事実化を目的としているような点が含まれた（「既成事実化」は、たとえば 2020 年 6 月 22 日付日本経済新聞記事「随所で風景映える町に 栃木・益子町がランドスケープ計画」のようなジャーナリズムの一端というよりもタイアップ広告に近い「報道」に対しても疑いを持つところである。その理由としては、同紙が町民の陳情や町議会常任委員会の意見等にあらわれた同計画の問題については扱わず、専ら町の説明の根拠や現実性について検証することなく紙面に掲載していることを挙げる）。</p> <p>また、実行委員会が主催するとはいえ、町長が実行委員長を務め、町が共催し、かつ公益性が認められて国庫補助を受ける事業でありながら（審査があるため交付金ではなく補助金と判断した）、特定の企業への便益の供与を図る（土祭の広報および実施を介して施設新設が周知されるなど同企業に便益が生じた。加えて、他の企業や事業者にとっては、相対的に不利が生じたことにもなると考えられる）など、地方自治法第 2 条 14 項および同第 232 条に適合しているか疑わしく思えるプログラムも見受けられた。このプログラムに対しては、議会で質問された他に（下記参照）町民からも疑義が呈されたが、実行委員会と町はこれを実行した（最近では、平日に開かれた同企業の式典の運営に町職員が現地で協力した）。</p> <p>このように問題視される点が複数あり、土祭の準備に携わり続けてよいものか次第に疑問を感じるようになった。益子町議会 益子町令和 3 年 3 月定例会（第 15 回）03 月 15 日-議案質疑・討論・採決 06 号 https://ssp.kaigiroku.net/tenant/mashiko/MinuteView.html?council_id=59&schedule_id=6&is_search=true</p>

Q5 会期中で嬉しかったこと、つらかったことを教えてください。

【嬉しかったこと】

分野	自由記載 ※【カッコ内】は回答者のプロジェクト名
企画	今まで体験したことがないツアーの裏側（作り手側）を知ることができて良かった。【ランドスケープ】
企画	うれしかかこと～展示を見た方から良い反応があった。【地域づくり】
企画	お客様が喜んでいただくことが嬉しかった（文化財公開）【セミナー】
企画	住民プロジェクトの参加者・来場者が喜んでいただくこと。ツアーの参加者の満足度が非常に高かったこと。【住民 P / ツーリズム】
企画	以前より体感したかった、薪で窯を焚いたり、窯をつくったり、陶芸をしたりすることが出来たのが嬉しかったです。【陶芸・手仕事】
企画	益子町にはそれなりに住んでいますが、知らなかったこと・行ったことがない場所など、これまでとは違った視点で「益子を見た」という新鮮な体験ができてとても良かったです。【アート/陶芸・手仕事/食育・食文化ほか】
企画	音とのコラボが効果があってとてもよかったです。神社近隣の方々から神社にまつわる事やイチョウの木の話など聞けました。遠方からヒジサイを目的に来られました。【アート】
企画	花火の実行委員だったので、短い期間で資金等を集めるのが大変でしたが、皆様によかったといわれたのでうれしかったです。【地域づくり】
企画	皆様が楽しめたようでよかったです。【アート】
企画	嬉しかったことは、自分達が計画した「おうちで見よう益子花火」が無事、好評に終わったこと。【地域づくり】
企画	最高の環境で最高の作品ができたのでとても満足でした。【アート】
企画	参加者の方々の期待を上回って、楽しんでいただけて嬉しかったです。【ツーリズム】
企画	参加者の方に喜んでもらったこと。【ランドスケープ】
企画	子供たちも一緒に参加させてもらったのが有り難く嬉しかったです！【陶芸・手仕事】
企画	思わぬ場所でアート作品と出会えたりしたことが楽しかったです。【空間・会場】
企画	笑い閻魔陶板プロジェクトについては、駅前ということもありたくさんの方に楽しんでみていただいている声を聞くことが出来てうれしかったです。【関連企画】
企画	地ビールができた。学校給食を出せた。森林ノ牧場がオープンする。小麦の収穫ができたことなど、計画を形にすることができ今後につながるきっかけづくりにもなりよかった。最終的には感染状況も落ち着いてメイン期間を迎えることができてよかったです。【食育・食文化】
企画	竹灯籠を観た方が喜んでくれたこと。【住民 P】
企画・協働	なにより、想定していた以上のお客様にご来場いただけたこと、ましろラボの皆様や地域の方々にご協力いただけたこと、とても嬉しく思いました。【住民 P】
企画・協働	文化財特別公開事業でボランティアの方々がとても協力的であったことや来場者の皆さんからいいイベントでこれからも継続してほしいと高評価していただいたことがうれしかったです。【セミナー】
企画・協働	労働が楽しい。【陶芸・手仕事】
企画・広報	コロナ禍の中で多少イベントの予定は変化したものの、無事に行えたこと。さらにメイン期間中、特に後半にかけて、土祭りのアートを目的に益子に初めて来てくれた方が多かったこと、年齢層も10代をはじめ20歳から30歳の若い世代も多く来てくれたこと、さらにアート関係者及び広報関係のかたが、とても興味を持っていただき、実際、美術手帖をはじめ今まで取り上げられなかった新しい分野に土祭/アートを通して益子を知っていただけたことはとても嬉しい結果である。また、実際来れなかった方も、事務局がInstagramを中心に広報活動を頑張ってくれたことで、新たな層が土祭を認知し、気にかけてくれたことは嬉しく思う。【アート】
企画・広報	土祭りの益子町内や、近所の方々への浸透度や参加度が高かったと思えました。地元向けのイベントの対応が素晴らしかったです。 逆に都心や他県からのアクセスをあげるための広報や旅行会社との連携？など広報が強くなるとより多くの外からの方々へのアクセスが増すと思えました。あとは、ホテル、食事、観光スポットなどとの連携が強いといいなおもいます。
企画・人とのつながり	いろんな人や子供たちと一緒に絵を描けるのが自分の思っていた以上のものができあがる喜びを知りました。人との関わり、町の人が通りかかって話かけてくれたり観光客の人ともお話ができてよかったです。【広報住民 P】
企画・人とのつながり	つちかまの窯焚き当番や、他の参加者の方と交流できて楽しく勉強になった。【陶芸・手仕事】
参加	会期中、あまり益子に行けなかったのが残念でした。いろいろイベントなどに参加したかった。
協働	準備期間同様、ご協力いただいた関係者と意見交換が出来たことは良かったなと思えました。【空間・会場】
協働・人とのつながり	サポートしてくれる方のおかげで、自分らしく書くことができた。まわりの方にとっても恵まれてとても感謝です。 【広報住民 P】

協働・人とのつながり	地域の仲間が協力してくれたこと。土祭事務局の方にも大変お世話になった。【地域づくり】
コロナ関係・企画	関われたことに感謝。15年続いているヒジサイがやはり今回のコロナ騒動の影響で難しいワークショップ開催もあったかと思いますがそれなりにできたこと、これからはその時その工夫を続けることが大事だと思います。【陶芸・手仕事】
全体	ご参加頂いた観光客の皆様「益子にこんな楽しい所があったんだ」等と、地域の新しい魅力に気づいて頂けたことが嬉しかった。【ツーリズム】
人とのつながり	土祭のぼり旗づくりで、竹林を整備した際、地主さんが子供達と一緒に現場にいらっしゃり、整備された現場を見て、とても喜んでくださった事が嬉しかった。 子供達も「久しぶりに、ここに入れた！」とテンションが上がっている様子で、整備に参加された方々も満足げな様子だった。【空間・会場】
人とのつながり	いろいろな方々と知り合いになれた事、また陶芸をはじめ、たくさんの手仕事に触れられ、勉強になる事が多かったです。つらかった事は特になかったです。撮影の詳細連絡がもう少し早く分かればよかったです。【広報】
人とのつながり	この会を通じて益子のファン、牧場のファンになってくれた方が多く参加者同士も複数回の参加によって仲良くなり関係性を作る場づくりができた。【食育・食文化】
人とのつながり	益子のいろんな方々と知り合えたことが嬉しかったです。【広報住民P】
人とのつながり	街中で、土祭の幟を頻繁に見掛けたり、実際に参加されるお客様と、会話ができたのは良かったが、力不足で関わりが殆ど取れなかった。【ツーリズム】
人とのつながり	企画を観に来てくださった方々から、様々なコメントをいただいたこと。【関連企画】
人とのつながり	気の合う仲間と参加することができて新しい出会いもありよかったです。お客様と直接お話する機会も久しぶりだったため参考になる意見や刺激ももらえた。【住民P】
人とのつながり	実行委員同士の親睦が計られた。小宅古墳群で宇都宮在住の方が結婚式を挙げたこと。【地域づくり】
人とのつながり	集客が思うようにいかなかったものの、スタッフさんとお話するだけでも楽しい時間を過ごすことができました。次に繋がる経験ができて嬉しかった。【住民P】
人とのつながり	人と人の繋がり。知り合いが増えた。神社にたくさん行けて身が清められた。子供がアートに触れる機会ができた。【広報住民P】
人とのつながり	毎日展示会場に通い展示の管理をする中で、いろいろな出来事や会話ができたことが思い出されます。つらかったのは個展の準備期間と全く重なったため土祭を楽しむ余裕がなく自分の会場とアトリエにいなければならなかったことです。【アート】
人とのつながり	連日たくさんのお客様にご来場いただいたこと。【住民P】
【つらかったこと】	
分野	自由記載 ※【カッコ内】は回答者のプロジェクト名
企画	コロナの緊急事態宣言により、準備に準備を重ね・実施を予定していた土祭のぼり旗づくりワークショップやヒジノワ駄菓子屋開店が実施できなかった事がつらかった。全体として、土祭の企画にそぐわない（地域に還元されないもの・市民の関わりしろがない/少ない）と感じる企画が多い、企画の実施経緯がおかしい（公金を扱う事業として疑問が残る）と感じる企画が多かった。【地域づくり】
企画	つらかったことは、苦労して作ったツアーへの参加がなく中止になってしまった企画があったこと。【ツーリズム】
企画	辛かったことは、地域づくりでのヒジノワ企画が失敗だったこと。【地域づくり】
企画	仕事の都合で長期出張になり、ほとんど見られなかったのが残念でした。【地域づくり】
企画・広報	他部門が多岐にわたり、どこで何をやっているか理解が難しく、あまり参加出来なかったのが残念です。【陶芸・手仕事】
広報	つらかったこと～告知や情報発信が充分でなく、来場者が少なかった。【地域づくり】
広報	住民プロジェクトの展示に関しては、なかなか告知が行きわたらず来客数もすくないためそういったところが少しつらく感じました。【住民P】
コロナ対策	全国的な「コロナ感染症」拡大の中で、ヒジサイの企画を実行していいものか中止すべきか……。地区として企画したプロジェクトを中止の決断を委員の皆に伝えること。【地域づくり】
コロナ対策	コロナのことで、みんなと集まれなかったのが残念でした。【空間・会場】
コロナ対策	コロナ禍で参加できなかったこと。【地域づくり】
会場	会期中、関係者の居場所がないのが残念に思えました。【空間・会場】
会場（その他）	つらかったのは、民宿ときですかね。喘息を持っていて、ダニなのがカビなのかでほぼ寝れませんでした。【アート】

全体・広報	レポーター業務自体は良い経験ができたと感じていますが、土祭そのものについては、これまで抱いていた印象とは異なり「町民自ら」という印象があまり感じられなかったり、発信についても偏りがあったように感じ、全体として残念に思っています。【広報住民 P】
その他	あまり参加できなかった。【ランドスケープ】
土祭への参加	<p>「その他の企画」に含まれる土祭アーカイブ展における風景観察スケッチ（土祭 2015 に際して廣瀬が制作）の複製品の展示に関して、著作物の利用を無償で許諾した。</p> <p>しかし、土祭会期中に益子町と株式会社良品計画の包括連携協定が締結され、これに伴い同社は、すでに土祭アーカイブ展が開催されている会場で土祭 2021 関連企画「もののゆくえ」を展示すると発表した。結果的に、同社は同じ施設の別の箇所で開催を行ったようであるが、率直に、展示ひいては文化に対する理解と敬意を欠いた行いに感じられた。</p> <p>ただし、より重く受け止めるべきことがあり、私は事前に事務局と結んでいた著作物複製利用許諾契約書に基づいて、2021 年 10 月 8 日に許諾取り消しを申し入れ、事務局に受理された。この申し入れは、「中国の新疆ウイグル自治区における人権問題に同社が関与する可能性が、払拭されていない」ことを理由とした。そうである以上、地方公共団体は、主権者の公共的利益を保持する努力を最大限行うべきである。栃木県議会は、2021 年 10 月 15 日に「第 1194 号 中華人民共和国による人権侵害問題に対する調査及び抗議を求める意見書」を可決している。</p> <p>—</p> <p>栃木県議会 意見書・決議の詳細情報 http://pref-tochigi.gijiroku.com/g07_IkenView.asp?SrchID=1334&bunrui=&Title=%92%86%89%D8%90%96%AF%8B%A4%98a%8D%91%82%C9%82%E6%82%E9%90%8C%A0%90N%8AQ%96%E2%91%E8%82%C9%91%CE%82%B7%82%E9%92%B2%8D%B8%8B%82%D1%8DR%8Bc%82%F0%8B%81%82%DF%82%E9%88%D3%8C%A9%8F%91&keyword1=&keyword2=</p> <p>以上のことから、準備期間から会期へと進む中で、土祭 2021 に関与したことに対する自戒、自責の念が一層強まってゆくことになった。</p>

Q6.Q7 設問「土祭 2021 企画で、次の土祭に繋いだ方が良いと思うもの」の選択について、理由などありましたらご自由にお書き下さい。

繋いだ方が 良いと思う企画	理由
アート	また参加ないしは行くきっかけになるので。
アート	参加者の皆様に楽しんでいただけてうれしかったからです。
アート	ほとんどアート部門以外観に行けずでした。
アート, 他	芸術というものにあまり触れる機会がないから
アート, 会場	時間的な余裕がなかったので、自分が関係した部門以外の他の部門についてはほとんどわかりません。
アート, 広報 P, 住 P	自分が 2 つしか見る事ができなかったのも、他のがまだわからないためきっとそれぞれやってつないで行ってほしいと思います。
アート, 陶	アートイベント+益子ならで(陶芸・手仕事)に絞った方がお客様にはわかりやすいんじゃないかと感じました。
アート, 陶, セミ, 食, ランド, 広報 P 住 P, 会場, 関連	益子に住まうひとたちにとって重要な要素が詰まっているから
アート, 陶, 広報 P 住 P, 関連	企画が多方面にまたがりすぎて「ヒジサイ」のコンセプトがよく分からなくなっていると思う。「土」に関するアートのお祭りや限定した方が、来訪する人にとってわかりやすいのではないのでしょうか。地域づくりはかかわってる人が少なすぎる。住民参加プロジェクトについては謎の企画が多すぎる。コロナでしかたがない部分もあったはずなので仕方がないと思いますが、準備期間が長くあったのでは?と推測しますので、次回は計画的に少しずつ進めていったらよいのではないのでしょうか。
アート, 陶, 住 P	魅力的な企画であり、今後の展開が楽しみである。
アート, 陶, 食, ランド, 会場, ツー	土祭をきっかけにした方がやりやすい
地域づくり, アート, 住 P, 会場, ツー	拡張性の高い企画が多かった為
ツー	ツーリズムの顧客アンケートの結果がとてもよかったので、今後も続けていく理由があると思った
会場	会場づくりからみんなでやるというのは、他のイベントにはなかなかないものなので、続けたいと思います。
食	地域に根づくイベントにするのであれば、衣食住に関する企画が最もわかりやすく人に伝えやすいからです。また、学校給食提供はイベント PR としてはもっとも効率的だとも思います。給食提供は今後、土祭から離れるのかもしれませんが、食育の一環では良い企画だったと感じました。
地域	ヒジサイの目的が行政と住民が協同で作る「風土に根差した地域づくりの祭り」であるため地域づくりは欠かせない企画だと思うからです。
地域, アート, ランド, 広報 P 住 P, 会場, ツー	街づくりに重要だから
地域, アート, 食	もっと、いろんな方々(特に住民)に参加して欲しいと思ったので、住民関連系を続けた方がいいと思いました。
地域, アート, 陶, セミ, 食, ランド, 広報 P 住 P, 会場, ツー	忙しく、あまり見に行けなかったですが、SNS で見ていて、時間があれば行きたいなあとと思った。
地域, アート, 陶, セミ, 食, ランド, 広報 P 住 P, 会場, ツー, 関連	全部は参加できませんでしたが魅力な企画だと思います。地域の魅力は小さいものから継続しそれが徐々に育って繋がった時に大きな力を発揮するのかなと思うので、「地域・アート・体験」に沿うものは継続出来たら良いのかなと
地域, アート, 陶, セミ, 食, ランド, 広報 P 住 P, 会場, ツー	益子独自という形がとてもいいとおもいます。他では味わえない、益子時間が流れていました。
地域, アート, 陶, セミ, 食, ランド, 広報 P 住 P, 会場, ツー, 関連	全体的に地域おこしとして必要な部分であると思うから。
地域, アート, 陶, セミ, 食, ランド, 広報 P, 住 P, 会場, ツー, 関連	多様な取り組みがあることが素晴らしいです
地域, アート, 陶, セミ, 食, ランド, 広報 P, 住 P, 会場, ツー, 関連, 他	1 つ一つの部門は繋いでいく必要があると思いますが、多くありすぎて把握できなかった。
地域, アート, 陶, セミ, 食, ランド, 広報 P, 住 P, 会場, ツー, 関連, 他	イベント単発で済ませず、どんなことでも継続していくことが大切だと思います。同時に町の状況に合わせてしなやかに姿を変えていくことも重要だと思います。Sustainable&Flexible
地域, アート, 陶, セミ, 食, ランド, 広報 P, 住 P, 会場, ツー, 関連, 他	すべてすてきでした。
地域, アート, 陶, セミ, 食, ランド, 広報 P, 住 P, 会場, ツー, 関連, 他	すべての企画がいい形で次に繋いでよりよく進化してほしいです。

地域, アート, 陶, セミ, 食, ランド, 広報 P, 住 P, 会場, ツー, 関連, 他	ヒジサイに関わる方が町外問わず多い方がより盛り上がると思います。より多くの PR をすべきだと思います。
地域, アート, 陶, セミ, 食, ランド, 広報 P, 住 P, 会場, ツー, 関連, 他	手を広げすぎだが、多様性がある良い
地域, アート, 陶, セミ, 食, ランド, 住 P, 会場	土祭全体のプロジェクトの項目の分け方が明瞭になるため。
地域, アート, 陶, セミ, 食, ランド, 住 P, 会場, ツー	前回のヒジサイから、住民が参加しやすい部門やイベントが作られとてもよくなったと感じ、そういった点から Q6 を選びました。広報住民プロジェクトについてはアート部門やほかの部門との差異がわかりずらく、情報混同しとても分かりにくくなる原因に感じました。なぜ広報なのに独自のプロジェクトを立ち上げるのか？広報だけ特別なのか？疑問を持ちました。
地域, アート, 陶, セミ, 食, 広報 P, 住 P, 会場, ツー, 関連, 他	町民の皆さんに、何らかのカタチで関わっていただき、何らかのカタチで享受し合える企画だと思うから。ランドドスケープ部門に関しては、2015 年の風土風景プロジェクトの方が町民目線であり、現実的で進歩的だと思うので、そちらを継続した方が良いと考えるので除外した。
地域, アート, 陶, ランド, 住 P, 会場, 他	特に益子の住人がなるべく参加できるような企画がいいと思います。
地域, アート, 陶, 広報 P, 住 P, 会場, 関連	部門が多過ぎて把握しきれなかったです。
地域, アート, 陶, 食, 他	現在から振り返って、第一回土祭は環境問題やサステナブル社会への意識が高く、ベンチ、テント、食器、のぼり、など既製品を使わず、未来への志向や提言がはっきりしていた。かなり時代を先取りしていたと思うし、今だからこそ再評価されて良いと思う。
地域, アート, 陶, 食, ランド, 広報 P, 住 P, 会場, ツー, 関連, 他	すべていいと思いますが、関連性が深まるといいですね！
地域, アート, 陶, 食, 会場	土祭に合わせた企画でその地域で行われていることの延長だとやりやすいが新たに何か考えてやるのは今後難しい。
地域, ランド, 広報 P, 住 P	地域住民がもっと参加できる企画があればいいと思います。
地域, ランド, 住 P, ツー	益子町住民の皆様には「土祭」の知名度をあげるためにはまた注目していただくには住民参加のプロジェクトや企画が多くすれば知名度は上がるかも
地域, 広報 P, 住 P	土祭当初の「行政主体の祭から町民主体の祭」にするべきだと思うから。
地域, 広報 P, 住 P, ツー	やっている内容を知らない住民の方がまだまだ多い
地域, 食, ランド, ツー	ヒジサイをやることで地域内の関係性を作るために地域づくり部門、対外的に益子の魅力を発信するためにツー、中と外をつなげるために食育食文化、ランドドスケープと目的に沿った内容ができればいいと思います。
地域, 陶, セミ, 食, ランド, 広報 P, 住 P, 会場, ツー, 関連, 他	アート関係は、益子町在住作家のみとし[町内にお金を使う]実行する。
地域, 陶, 広報 P, 住 P	益子町は 3 地区あるので、それぞれの地域で工夫しながら多くの人で取り組むことが大切と思うから。
地域, 陶, 広報 P, 住 P, 会場, 関連	アーティストは益子近辺の人でやってほしいです。
地域, 陶, 食, ランド, 住 P	もっと地域密着型にして欲しかった、もっと町内のアーティストや職人の方々が参加出来る企画にして欲しかった。
陶	益子と言えば陶芸の町なので、手仕事は外せない
陶	陶芸関係に携われたことが楽しかったたくさんの陶芸家さんに出会えたのが幸せだった
陶, 広報 P, 住 P, 会場	町民の関わりしるがが少ない企画は不要だと思う。 コロナ禍により関わりしるを持つ事自体が難しいところもあったと思うが、それを鑑みた場合、土祭を実施する事自体、やめるべきだったと思う。 (交付金をとれなかったタイミングで、やめる判断をしなかった事は甚だ疑問。)
陶, 食	益子町はやはり陶芸の町だから
陶, 食, 住 P	私は飲食業の人間なので、益子の豊かな食というものを子供達に伝えたり、町民の方々に今以上に食について考えていただくきっかけに土祭がなれば良いと思っています。
他	今一度土祭が始まった当初に掲げられていた「町民たちが中心となってつくりあげる」とはどういうことかを行政も町民も一緒になって考え直したうえで、今後も続けていくのかどうかを含めて検討したほうが良い
無回答	「次の土祭」という前提そのものが考えられないので、なし。
無回答	アート、陶芸、食育、ツーのような具体的な取り組みが一見してわかるようなそんな名所の企画名の方が住民への周知インパクトはあるように思います。地域づくり、広報、住民プロジェクト、会場、関連企画等は抽象的な名称で方向性視点が見えづらい印象を感じます。ランドスケープの名称は住民には理解に困惑するテーマのように思います。「ランドスケープ？えっ何？！」な感じでわきに注釈などあるとよいのかなとも思いました。

無回答

無回答とした理由を以下に述べる。

上記のこと（Q3、5への回答を指す）や、公表される理念と実態の隔たりから、土祭を継続することが妥当かどうか、町民の審判を得る必要があると考える。

地理学、景観生態学を基礎学問としてランドスケープデザインの研究、実践に携わり、土祭 2015「益子の風土・風景を読み解くプロジェクト」を担当した者として、土祭 2021 公式ウェブサイトにかかれる「風土に根ざした地域づくりの祭り」は、事実と異なることを指摘する。理由は、「ランドスケープ部門」と担当者を同じくする益子町ランドスケープ計画の精査・再検討を求めた陳情書に添付した意見書の内容に通じるので、それを参照されたい。

土祭 2009-2015 と、土祭 2018、2021 は、事実「風土に根ざした地域づくりの祭り」と認められるか否かにおいて、正反対とはいわないまでも相当隔たりがあると受け止めている。「風土に根ざした地域づくり」を志向するならば、風土の理解および風土を基盤とした地域アイデンティティの共通認識が、町民との学び合いの上に広く図られるよう努めることが求められる。しかし、そのような可能性を有する企画や真摯に地域に向き合って制作、展示された作品などが見られる一方で、風土研究を行う立場からすれば、「風土に根ざした」と公表できる根拠を持たないと考えられる企画者と企画も散見された。

それ以前に、町民のどれだけが土祭 2021 の理念や内容を把握していたのか。そして、COVID-19 感染拡大下で、経済面や健康面で不安を抱える町民も多い中、より優先度の高い事業へさらに集中的に公費を投じ人員を配置することなく土祭 2021 を実施したことをどう考えるのか、できるだけ記憶が明瞭なうちに（当然、来年度ではなく今年度）質問紙調査を行い確認することを、実行委員会と町に求める。土祭の継続については、その結果を受けてはじめて判断できるはずである。

※Q6「繋いだ方が良くと思う企画」回答者の内、Q7「その理由」を回答いただいた方だけの企画（プロジェクト）名を記載しています。

※プロジェクト名の略

地域＝「地域づくり」 アート＝「アート」／ 陶芸＝「陶芸・手仕事」 セミ＝「セミナー」 食＝「食育・食文化」 ラン＝「ランドスケープ」 広報P＝「広報住民プロジェクト」 住民P＝「住民プロジェクト」 会場＝「空間・会場」 ツー＝「ツーリズム」 関連＝「関連企画」 他＝「その他の企画」

Q8 土祭 2021 公式ウェブサイト・コレクションファイル・ポスターへの意見・感想を教えてください。

分野	自由記載
WEB	Web サイトでどれぐらいクリックがあったのか知りたいです。
WEB	web の読み込みが軽いと良い
WEB	写真が綺麗だと思いましたが、ウェブサイトは動作が少し重く感じるがありました。
WEB	土祭 2021 公式ウェブサイトは運用に手が行き届いていない部分が散目された。運用について、事務局だけでなくボランティアを募って運営にあたるなど、運用体制に課題が残ったと感じた。 土祭参加者からも「分かりづらい」と言われた事が何度かあり、「分かりやすさ」をさらに追求する必要性も感じた。(とはいえ、そこには予算措置が必要になるので、十分な予算確保もお願いしたい。)
WEB・SNS 広報物	ウェブサイトを中心に情報を集約し、インフォメーションの中心的なコンテンツにするはずではあったが、インフォメーションが機能してなく、リアルタイムに欲しい情報が拾えないことは、改善したほうが良いと思う。また、今までの土祭の情報や概念的なコンテンツが中途半端にトップページにあたりと、もう少し整理し、何をどこで行ったか結果記録写真(画像)を中心に情報をシンプルにまとめる必要があると思う。土祭りのイメージ画像ではなく、イベント情報や Instagram などリアルな情報がトップページに紐付き、コロナ禍の中で情報をアップデートする重要コンテンツが探せるようにしたほうが良いと思う。それは全体のコーディネーターやイベント会社が入っているわけではないので、会期始まってから修正や補充する案内を随時追加できるような、柔軟な構造に変える必要があると思う。 パスポートの意味を含めたコレクションファイルはパスポートとしての機能が曖昧で、現場で説明に苦難した。ポスターに記載されているメイン期間と土祭期間の意図が結果的に曖昧だったので、シンプルにするべきだった。
WEB・広報物	web について情報がレポーターノブログ記事ばかりになっていたのも、事務局からの情報とブログ記事とで分けた方がよいと思います。ポスターは素敵でした。
WEB・広報物	ウェブサイトについては、わかりにくかったと思います。欲しい情報になかなか辿り着けなかったです。コレクションファイルを購入しましたが、毎回楽しみにしていました。ポスターの写真が最高に好みます。
WEB・広報物	ワークショップに参加したいと思い、土祭の HP で検索しようとしたのですが、実際詳細ページがでるまで、非常にわかりにくかったです。知り合い何人も HP をみても何がいつ開催されているかわかりにくい、把握しにくいと言っていました。知人によると、今まではワークショップ参加にあたり分かりやすかったのに? 今年はずりにくい! と言っていましたよ。
WEB・広報物	公式ウェブサイトを立ち上げた事業者として、その後、町内外への広報周知において、適切に活用されていない状況が、非常に残念だった。
WEB・広報物・広報	私自身も会社のスタッフ、来場してくれた友人知人皆ヒジサイ 2021 公式ウェブサイトがわかりづらいという意見です。まず必要な情報にスムーズに行けず、トップページのポスター写真が毎回出てくるのもストレスでした。コレクションファイルについても重くわかりずらくあの意味が分かりませんでした。もっと来場者にとってわかりやすい広報をお願いしたいです。このことから Q7 で書いた広報プロジェクトの労力は純粋に広報のわかりやすさにまずは力を注いでいただきたかったです。
会場	のぼりが少ない感じがする。会場のそばだけでなく、他町から益子に入る町界にのぼりを置くと益子町に入ったという気になるのでは
広報	いろいろ PR はしていると思うが、全体で何をするのが見えないと感じた。コロナのため大人数を集めることは難しいがもっと町民が関心を持つ方法があればと思う。
広報	どこで何をやっているか一目瞭然で分かるカレンダーにして欲しい
広報	ヒジサイにふさわしい PR だったと思います。
広報	プログラムの内容を確認する方法がわかりづらかった
広報	何をやっているのかよくわからなかったです。
広報	平日にも参加出来るイベントがあるとよいなあと。土日休みでない方々もお客様で多いため。
広報物	ウェブサイト、ヒジサイノート、コレクションファイルが充実してきているように思われます。
広報物	ポスターの写真がとてもよかったです
広報物	生命力を感じる
広報物	大地、生命力の強さを感じる良いポスターだと思います。
広報物	コロナ禍での長い期間での開催だったので、今回の形態は良かったと思う。途中で思ってもみなかった企画(無印良品関連など)が入り込んできたことを思うと、従来のガイドブックを作らなくて本当に良かった。
広報・広報物	毎回のことですが、内容が多岐にわたるのでプログラムが分かりづらいという声が多かった(案内窓口を対応して)マップの充実(わかりやすさ)がないとお客様からクレームが多い気がします。
コロナ対策	新型コロナウイルスの影響などにより、会期が延長され、ポスターの作り直しを初めとする紙媒体の修正やウェブサイトの訂正を余儀なくされる中よく頑張ってくれたと思います。

全体	いいデザインと思うが、目立たない。
全体	芸術性が高く魅力的
全体	ストーリーを感じることができ良かったと思います。子供たちにもっと焦点を当てることができたら尚良いかと。
全体	とてもよかったです。
全体	とても素敵なデザインでした。
全体	ハイクオリティで驚きました。もう少し遊びがあってもいいと思う。
全体	新しい形でしたが、いろいろと問題もあり、でも次に向かって進化してほしいです。
全体	素晴らしいものだったと思います。(3) とてもよかったです。(4)
全体	毎回違ってとてもいいと思います。
全体・WEB	<p>全てリリースもの雰囲気は、統一性があるという点は良いと思います。ですが、私には拝見したあとに「で？」となる内容も多く、何を指してこのリリース物があるんだろ？と疑問に感じるが多かったです。(新型コロナの影響でPRや集客しづらいという背景はあるのでしょうか...)</p> <p>またホームページに関しては...</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トップページのメインビジュアルの読み込みが遅く、アクセスする気になりませんでした ・企画内容の追加や更新がわかりにくく、事後のブログで「そんな企画があったんだ」と知ったケースもあります ・モバイル環境ではとても見る気にはなりませんでした
全体・広報	<p>かっこいい。参加するときには使いづらい部分もある【他市からの参加だと現地まで行って駐車場を説明してもらい戻って歩きたいなことがもう少しわかりやすいと便利かと感じました】</p>
全体・広報	<p>コロナの為お知らせが難しかった。慣れてきて第一回目のようなインパクトがない。</p>
全体・広報	<p>とても見づらいというかわかりにくかったです。もっと宣伝が必要です。(チラシもおいてなかったりしたので)新聞を取ってない人は広報も見れないし、回覧板もきちんと見ていないと思います。</p>
ビジュアルアイデンティティ	<p>もう一度と土祭が目指すテーマを再確認した上で、アイデンティティを感じるデザインに統一する必要があると思う。</p>
ビジュアルアイデンティティ	<p>一目で「土祭関連のもの」とわかるような統一したイメージで作成してほしい。</p> <p>途中で配布されたものの中には、見る側への見やすさに配慮されていないもの(アート企画)や企業イメージに合わせてしまったと感じられるものなどがあり、全体としてばらばらな発信がなされているような印象となってしまっており残念。</p>
ビジュアルアイデンティティ	<p>土祭 2021 の広報物全般を見た際、ヴィジュアルアイデンティティ形成が図られていなかったことを問題として指摘する。</p> <p>ポスターの意匠は、過去の土祭に通じて、可読性の重視を基本としたタイポグラフィの理解に基づき、画面構成も主要素となる写真が土祭本来の理念を生かすべく効果的に用いられたものであった。しかし、ロゴタイプを変更した別の広報物が見られた。また、アート部門のフライヤーは、ポスターと著しく質が異なり、「感性の土壌(文法的に難があるが、「感性を育む土壌」あるいは「豊かに感性を刺激する土壌」のような意味か?)」という主題を即物的に表現した(石から動物を模した立体作品が生まれる。そして、いくつか選ばれた石の中には益子町に産するがごく一部に限られ、町内で用いられている同種の石は県外か国外で産出したものが含まれる)幼稚なものであった。</p> <p>ただし、上記は造形思考の過程と結果に関する趣味の優劣を評価することにも集約され、これ以上言及するのは不毛かもしれない。しかしながら、ロゴタイプを決めるのは、ヴィジュアルアイデンティティを形成して視覚情報伝達の効果を高めるためであり、それなのにロゴタイプが媒体によって変更されていた点に対しては、国庫補助金も含む公金を支出して行う事業として適切に運営されていたといえるのかどうか、疑義を呈する必要がある。これは、造形にかかわる趣味の優劣の問題ではなく、行政が自ら設定した目的を達成するために合理的に実行されていたか、それとも不合理、いわゆる場当たりの決定に基づいていたかに関する問題である。</p>

Q9 ご自身の土祭での関わりについて、反省点、次回への抱負などありましたら教えてください。

【抱負】

自由記載

2024 でまたご一緒できましたら、今回参加いただき縄文太鼓制作をした皆様とも合同で 2021 メンバー + 2024 メンバー大セッションが出来ればうれしいです。

SNS の集客を頑張りたいです

アート部門参加させていただきありがとうございます。次回も関わればまた違う作品を作りたいと思います。

あまり積極的な参加はできませんでしたが加えていただきうれしかったです。

いざ何かをやらうとなった時に日頃の付き合いが一番大事なことだと改めて感じた。

コロナであまり参加者が少なかったので、次回は通りすがりの人にも書きたい人がかけるようになるといいなと思います。(ウィンドウアート)

集客がより出来るよう、イベント作成ができる関係者と関わりたい。

集客において、次回はさらに強化した取組みとなればと思います。

また窯焚きしたい

もっとたくさんイベントに参加できたらよかったです。

今回、仕事の都合上ヒジサイ関連の企画運営に一切かかわることができず、申し訳ありませんでした。今、益子町でも都会化のように近隣住民の繋がりが希薄になりつつあるように思えます。私自身としては、このような時代趨勢に流されないためにも、ヒジサイを初めとした、地域イベント、企画に関わりたい思いは忘れずに持ち続けたいと思います。

今回オリジナルビール醸造で関わらせていただきました。コンセプトの理解や実行委員の方とコミュニケーションをとり、目的とする未来へ近づけられるように取り組みたいと考えます。

今回はコロナ禍ということもありましたが、次回は他分野の人と交流ができるともっと楽しくて学びが多いイベントになると思います。

仕事をしながらなので関われる範囲が限られていますが少しでも協力できることがあればしたいと思います。

子ども学生(小中高)との協働・参画を考えてほしい

時間に余裕があれば、いっぱいかわってみたい。

次回は、今回以上に、協力したいと思いました。

次回もヒジサイがあるならまた参加して地域を盛り上げたい。

宿泊施設とかやりたいですねー。

初めて関わらせていただき、事務局の方の人員の少なさにびっくりしました。次回はボランティアのような形でかかわれたらと思います。

前もって開催される企画の情報を収集する必要があった。次回はもう少し深いかかわりが持てたらと思う。

土人形をシーサー的な存在にできたらと続ける方向でよろしくお願ひします。またその中で新しいワークショップの形も作り、マンネリ化しないこと!!子供たちの成長に合わせて可能ですから。

抱負としては、様々な関わりしろを持った土祭 2021 は一つの大きなモデルになったと思う。多様な考え方を受容する益子という風土を、もっともっと楽しみ、アートの力を通し、伝えることに助力できるのであれば、次回も頑張りたい。それには私自身がそれまでにアップデートしなくてはならないとも思っている。良きものを大切にする価値と新しい価値観を探索する実験的な意欲をもち続ける刺激的な町であることを願って。

本当に実行委員、並びに七井地区委員の方々にはお世話になりました。またご苦労様です。次は後方よりバックアップします。

毎回とても楽しく撮影させて頂きました。

今回は時間に余裕が持てなかったので、次回はもっとじっくりとお話を聞きながら撮影出来たらと思いました。

【反省点】

自由記載

アート部門は巡ることができましたが、参加できなかった部門が多くありました。

コロナでなかなかヒジサイに集中することができなかつたです。

コロナ禍だからということはあるが、一般のお客様との関わり、交流がなかなかできなかった。

そもそもの集客方法に問題があった。イベントの企画の時点で人が集まりたくなるようなものにする必要があった。

普段ひとり制作なので、人とかかわることの大切さの土祭へ参加することに緊張しすぎてしまいました。次回はすこしよくなっているとよいです。

もっとゆっくり時間を取れるプログラムを作った方がよかった。参加者の負担を考えて短時間のスケジュールを組んだが、とても忙しないワークショップになってしまった。

もっと益子の土祭を楽しめるメニューをもっともっと考えるようにする。

もっと簡単に町民の方々が参加出来る事を企画したかった。

仕事の都合であまり参加出来ませんでしたので他の地区を見られなかったのが残念でした。

地域の人達の関心度が低く一部の人達のイベントになってしまった、現状では仕方ない部分もありますが、地域への貢献度をもっと高めなければいけないと思いますし、もっと若い世代の人達が参加してもらえるようにしたい。

私はもともと、アートに関するものは興味がなく、、、それに付随して記事として興味を引ける・PR として効果的な語彙力が足りなかったのがレポーターとして反省すべき点です。(レポーター養成講座ディレクターさんにはそのあたりの表現や言い回し・配慮などでお世話になりました)

新型コロナウイルスの影響で指針が出ていたとはいえ、流動的であったため、どのタイミングで日程を変更すべきとか参加人数の削減に踏み切ったらよいかとか県内だけでなく県外の参加者も可能とするなどの決定をもっと早くできたらよかったかなと思います。

全てに関わるのは難しいとしても、与えられた分野で良くできたとは言えない内容だった。

想定以上のお客様にご来場いただけた事が喜びではありましたが、その分の準備不足も痛感しました。次回はどうなるか分かりませんが、想定以上の準備の必要性を感じました。

早期からの参画

直前のスケジュールの変更に対応しきれない場面がいくつかあったので、関係者の皆様にご迷惑をおかけしたと思います。

次回携わる場面がありましたら、私生活に余裕を持った状態で臨みたいです。

反省点は思いのほか、関わる事が多く、自身の個人の仕事や家族の時間を取られてしまったこと。もう少し計画的に余裕を持って行えると良いと思うが、この問題はコロナ禍であったことや関わる関係者が多かったこともあるので、なかなか難しいとは思っている。

【その他】

自由記載

もっとかかわりあえる時間がほしかった。

違った形で参加できたら。

客としての立場で関わりたい。

会期中、ほぼ会場に行けなかったのが、のんびりと会場にいたり廻ったりできると、また見え方がちがったかもしれないと思いました。

個人的に次に繋ぐことが出来るものを何か残せたのかな?と思うとかなり残念な気持ちになります。次回開催された場合、企画運営側としては関わらないと決めています。益子町にはもっともっと才能ある人材がいらっしゃいます。そんな方々に関わっていただくことが大事だと思いますし、そんな方々を見出すための企画やリサーチが必要ではないかと思います。

最低限の責任は果たしたと思う。次回は責任のない立場で参加したい。

仕事の関係で準備も全く協力できませんでした。このような状況なので、以前、役員を辞退したいとご相談しましたが、役員の変更はないのでしょうか。

土祭 2009-2015 に広く有され、土祭 2018、2021 の一部に見られた公益性を評価し、自らも、設問 3 への回答に書いた「地域共同体の維持や地域環境の管理」のためになることができればと考えて、土祭 2021 に参加した。しかし、上記した諸々の問題に接して、大局的に見て参加するべきではなかったと反省している。

また、土祭の継続に関しては、設問 7 への回答に書いた通りであり、次回への抱負は、考えられない。

土祭 2018・2021 と参加してみて、現・実行委員長の前で開催される土祭にはもう今後、関わりたくないと感じるに至りました。

町民として純粋にアートを見て参加して楽しんだりでき関係者としても自分にできることは精一杯やったと思います。個人 SNS でも土祭について告知するなど関わらせていただきました。

町民として純粋にアートを見て参加して楽しんだりでき関係者としても自分にできることは精一杯やったと思います。個人 SNS でも土祭について告知するなど関わらせていただきました。

Q10 土祭で改善すべきこと、あったら良い企画サービス、運営体勢等について自由にお書き下さい。

【運営体制】

自由記載

今回はいろんな部門に分かれてそれぞれ進める体制はよかったと思いますが、全体としてのまとまりや想いがもう少しほしかったですね。でもこのような状況の中、ヒジサイのかかわったすべての方に本当に感謝しています。皆さんお疲れさまでした。

今回の土祭は「町民が中心となってつくりあげた場」というよりも「町の施策の発信の場」として使われていたような印象です。町の予算で開催するのでそれについて問題ない、という見方もできますが、それであればウェブサイトなどで「町民主体」のようなイメージを発信するには違和感を感じます。次回開催ありきではなく、本当に町民にとって必要なものかどうかの検討や、「土祭」という名を掲げて開催するのであれば、初心に立ち返ってあるべき姿を考えていくことが必要ではないかと思います。

最初の土祭から続くコンセプトを大切にしてほしい。軸がぶれていないか事務局がしっかり確認すべきだと思います。また連絡体制（横のつながり）はもっと密であるべきだと考えます。協力したくても立場上 NO と言わざるをえない場合もありますので、そうならないためにも早めの連絡や相談が欲しいです。

事務局からの連絡がなく、一部参加者からのアンケート依頼をすることができなかった点があったため、もっと連携を密にすればよかったとおもいます。

事務局のマンパワーが足りないように感じる。役場での土祭に対する士気の低さにガッカリする。

実行委員会で検討すべき課題が決定報告になっていることに不自然さを痛感。途中で欠席になっている実行委員（重要なポストでは）の無責任には憤りを感じる

町民の皆様にもっともっと関わっていただくためには、どうすれば良いのか？どのような組織作り、運営の方法が良いのか？正解はなかなか見出せないと思いますが、開催ごとにそれを模索する姿勢が必要だと思います。

また、益子町が何故「土祭」を開催するのか？回を重ねるごとに、町民の皆様が少しでも納得（理解）する方々が増えるための、工夫、検討をする必要があると思います。勿論、「土祭」の意義をあらためて検証する必要もあると思います。

のぼり旗の回収を女性スタッフが1人で行っている現場をたまたま目撃しました。重労働なのでスタッフの確保ができないならば…….と思いました。

もっと町全体の取り組みに出来ると良いと思います。町内の子供達ももっと関わられるように、そうすれば関心の無い大人たちも必然に動きます。

もっと地域・地元密着な実行委員メンバーを増やし、町民が求める企画をプロデュースすべきだと思う。

もっと地域の人に参加できるものを増やしてほしい。

役場内で負担をかかえている人達がとても大変そうだったので、分散させられたらよいなと思った。

運営が押し付けられて仕方なくやっているように感じる。義務感だけでやりがいを感じているのかどうか分からない。もう一度原点に戻って、土祭を立て直す必要があると思う。

運営も初めての体験だったと思いますが、特に不自由なかったです。お疲れ様でした。

企画に対して職員の数が少なく大変そうだった。無理にいろいろ増やさない方が良いと思った。

【サービス（企画・広報・人材など）】

自由記載

いつもどのように土祭を回ったらよいかわからないとの声が多いので、土祭ルートマップのようなものを作成して土祭を回ってもらう仕組み、プログラム構築をしていった方がよいかと思いました。

つちかまプロジェクトは次回にも繋げて欲しいです。

テーマが多すぎない方がいいのかな？

駅伝またはマラソン。道行く人と一体感が得られるのでは。

歌や音楽に特化した企画があるといい。

期間中の町全体のライトアップや、SLのライトアップ夜間運行など、集客力のあるメインイベント・会場があると良いかと思う。

今回は飲食出店がなかったため何も協力できず申し訳ない気持ちです。次回は食の楽しさを提供できる企画となりますように。皆様色々ありがとうございました。

私ができることではないですが、イベントの規模(実施対象区)が広すぎるのでは…と感じた。徒歩で回れるコンパクトなものであっても良いと思う。

私は益子住人ではないのですが、益子住人の方々と話してみた機会があり、

土祭は公の行事なのに一部の人だけでやっている感じがして、公なのに公でない…みたいに思っている方が多々いるように感じます。住人参加型の何か企画できたらいいですね…自治会を巻き込むとか…なかなか難しいですね。

色々ありすぎていいこといっぱいやってるのもったいないと思いました

陶芸関係者のお祭りのような気がしますので、町民主体のお祭りとしたい。

今回は新型コロナウイルス対策や会期延長で、事務局側も大変ご苦労なされたかと思います。

プログラムの変動が大きかったからか、プログラム自体が多かったのか原因がわからないですが、全体的にわかりにくかった様に思います。

土祭のプログラムがわかるリーフレットがどこにあるのかわからない事、ウェブで情報が見つけれない事など、益子町民だけでなく、近隣市町の方からもご指摘がありました（8件ほど）。

良い企画だったのに知らなくて行けなかった。友人のインスタで見て、行きたかったなど残念がっている方が多かったです。プログラム周知が上手く出来たらよかったですとは感じました。今回は夕焼けバーなどの楽しみ方がなかったので、次回は復活してほしいと思います。

「土祭ってなに？」をひと言でわかりやすく説明できるものが欲しいです。もともとよくわからなかったですが、レポーターとして関わってもよくわかりませんでした。

ホームページには「行政と住民が協働でつくりあげる風土に根ざした地域づくりの祭りです。」とありますが、結局「で？」となってしまう。そういうものであれば仕方ないですが、人に説明しにくいです。

アート作品がある場所のマップなどを作成して、町内に掲示をすれば良かったのではと思います。

いつどこで何をやるのか分かりやすく告知して欲しいです。

テーマ内容が早めに決まり、準備期間を長くとれるとよい。

改善すべき等、地域の方々との交流から感じることは、「ヒジサイ」そのものの存在や意義が地域に浸透していない（いっていない）感じがします。町中が土祭色に染まるような大アピール構想が求められているかもしれません。土祭の存在意義を後世に残せるためにも。

世間遺産スタンプラリーにて、より具体的なヒント(駐車場ありとか)を web に載せとくとか。

宣伝をとにかくもっとうまくできてたくさんの人にしてもらえて見てもらえたらと思いました。

土祭のやっていることが、自分でもよく理解してなく、他の人にうまく説明が出来なかった。

土祭の住民への理解度と貢献度を上げる必要があります。大きな予算を使っているなら尚更です、土祭の全ての情報を町民に開示してもっと透明感を持って運営していただきたい。少ない予算でも出来る企画、地域住民が参加しやすい企画を考える必要があります。

土祭期間中、どこで何をやっているか一目瞭然で分かるイベントカレンダーのような仕組みが欲しい（色やマス目を活用）他の地域の人にイベント告知しやすくなります！

人との出会いはお金で買えるものではないと思います。沢山のひとと出会い学校では得られない学びがありました。そんな出会いがあるのが土祭です。益子は昔ならではのひととの繋がりが息づく町。

益子の良いところ、土祭をもっと沢山のひとに知って欲しいです。那花さんの働きが素晴らしく、見習うことが多かったです。参加させて頂けて本当に楽しかったです。私の人生の忘れられない貴重な時間になると思います。

土祭事務局の皆さんはじめ関わられた皆さんに大変感謝申し上げます。事務局で動かれていた皆さんの誠意や熱意、能力の高さには大変素晴らしいとやはり人が大切なんだと感じました。このような素晴らしいスタッフがいてくださればいいヒジサイなんだと思います。サービスとしては車じゃない人にも優しい交通のバスなどあった方がこういったイベントには必要かと思いました。

イベントのコンテンツ、場所、会期などを分かりやすくする必要があったと思いました。

関係者としても分からないイベントが多く、インスタグラムを中心とした情報発信だったので、キャッチアップできる層がかなり限定されてしまった気がします。素敵な企画がたくさんあり、自分自身を楽しむことができたので、情報を整理し、誘導（モデルコースを作る等）ができると「土祭」が、より広域に浸透したお祭りになると思います。

町民だから協力するのではなく、土祭自体に責任を持って関わられるよう、アイデアや知識、人間関係を用いる仕事として捉えていただきたい。アーカイブにおいてはフラットに情報を整理し、いつでも引き出せるようにしてほしい。

事務局の今回の多大な働き、各企画への理解は本当に感謝いたします。土祭事務局の方をはじめ皆様、ありがとうございます。

益子は宿泊するところが少ない印象があり、泊まること自体を一つの企画にしてみるのもよさそうだなと思いました。運営については、コロナの状況で大変だったと思います。おつかれさまでした。ありがとうございます。

【その他】

自由記載

すべての企画がすてきでした。また次回もお願いします。

コロナで難しい場面がありますが一体感が出るともっといいと感じます。

事務局の皆様、コロナ禍での開催お疲れさまでした。

継続してほしい。もっと町民が当事者に。

長期間の開催で事務局のご苦労も多かった事と思います。お疲れ様でした。

とても楽しかった。皆様に参加（見て）ほしい。

議会だよりで土祭をまったく理解していない議員の記事があった。税金の無駄遣いなど、それを読んでがっかりしました。議会での指導をお願いしたいと思います。

土祭の継続については、設問 7、9 に回答した通りである。地方公共団体が関係する公益的事業の運営に対しては、設問 3 への回答に書いた特定企業への便益の供与に関することや、設問 5 に書いた人権侵害への関与がなかったと証明されない企業との協定締結のような、地方公共団体の主権者である町民への公正な公共的利益の確保に抵触しかねない行為の回避の徹底が求められると考える。

地方公務員法第 30 条には、「すべて職員は、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、且つ、職務の遂行に当つては、全力を挙げてこれに専念しなければならない。」と規定される。誰の決定によって上記の問題が生じたのか、疑問が残るところである。

土祭をやるなら、もっと地域住民の声を聞いて、地域住民に寄り添っていただきたいです。土祭 2015 までの形をなぞっているだけのような、土祭 2018・2021 でのやり方は全て根本から考え直した方が良いと思います。

土祭 2015 のように地域の調査からはじめ、地域の課題や歴史・特色をあぶり出し、そこから各企画を考えていく形の方が派手ではないかもしれませんが積み上がっていくものがあり、その後の他自治体からの見られ方も良いように感じています。

また、事務局から、土祭 2021 の町民向けアンケートは今年度内にできないとの事でしたが、町民アンケートが無いにも関わらず、総括報告書をまとめるとはどういう事でしょうか。全く理解ができません。町民軽視の土祭と言われても弁明できないと思います。そのような土祭なのであれば、税金の無駄遣いになるので次回はやらないでいただきたいです。

初めに関わるであろう人達みんなにコンセプト、計画、流れなど資料を提示し、目的や思いを一つにまとめてスタートしたらよいと思います。最終目的は、集客（観光地としての）なのか？主催側の自己満足なのか？難しかったです。新参者がたくさん書いてしまい申し訳ありません。ヒジサイレポーターとしてあれでよかったのか？自問する日々です。関わらせていただきありがとうございました。

地元の方々の理解が少しずつあるかと思われまます。運営委員、事務局の方々にお世話になりました。お疲れさまでした。

子供たちにつないでいける事。より多くの方々に関わっていただけるようくらしの中から生まれてくる益子らしさを忘れずに。ヒジサイが始まってから始まるのではなく、普段の生活が続く感じ。ありがとうございました！
